

途上国の課題解決にむけて

斬新な発想でビジネスを展開する起業家を応援

～日本発・現地発のスタートアップを支援する JICA の強み～

2022.11.29 JICA記者勉強会

独立行政法人国際協力機構（JICA）

本日の流れ

1. JICAのスタートアップ支援の意義・全体像
2. 事例
 - ①中小企業・SDGsビジネス支援事業
 - ②TSUBASA（中南米向け）
 - ③Project NINJA（アフリカ向け）
3. 今後の方向性（案）
4. Q&A

本日の流れ

1. JICAのスタートアップ支援の意義・全体像

2. 事例

①中小企業・SDGsビジネス支援事業

②TSUBASA（中南米向け）

③Project NINJA（アフリカ向け）

3. 今後の方向性（案）

4. Q&A

スタートアップ支援について

- スタートアップは、従来は市場に存在しない製品やビジネスモデルを有するイノベータータイプで、課題解決型のビジネスを短期間で実現・急成長させる企業です。
- 開発途上国の社会課題は複雑化しています。イノベータータイプで課題解決型のビジネスにチャレンジするスタートアップは重要な担い手です。
- そのため、JICAはスタートアップ支援に力を入れていきます。

JICAのスタートアップ支援

途上国と日本のスタートアップをつなぐ／途上国発のスタートアップ育成を支援するのが、JICAの強みです。

スタートアップ
成長段階

シード

アーリー

ミドル/レイター

日本企業向け

中小企業・SDGsビジネス支援事業

開発途上国の開発課題とニーズを理解し、その解決に資する製品/サービス・技術・ノウハウを試すことで海外ビジネスを構築する本邦民間企業等の取り組みを支援。

事例 1

中南米： TSUBASA

日系スタートアップと中南米とをつなげる／米州開発銀行グループの基金（IDB Lab）と連携

事例 2

出資（海外投融資）

現地企業向け

Project NINJA 【アフリカ】

19か国でのビジネスコンテスト。様々な分野の起業家約2,700社が提案。優秀企業68社に上限3万ドルまでの実証支援

【アジア】

日本人材開発センター等における現地起業家のアクセラレーション、日系企業による現地SUへの投資のマッチング

事例 3

出資（海外投融資）

現地スタートアップ／それを支援するファンドへの出資

出資（海外投融資）の例

日本のスタートアップ向け出資

| 事業 | 出資先・備考 | 事業金額 |
|-------------------------------|--------------|------|
| オフグリッド太陽光事業 (サブ・サハラアフリカ) | WASSHA | 3億円 |
| 金融アクセス向上マイクロファイナンス事業 (アジア) | 五常・アンド・カンパニー | 10億円 |

途上国のスタートアップ向け出資

| | | |
|------------------|----------------------|--------|
| ケニア廃棄物バイオリサイクル事業 | Sanergy, Inc. (サナジー) | 250万ドル |
|------------------|----------------------|--------|

途上国のスタートアップを支援するファンドへの出資

| | | |
|----------------------------|---|----------|
| DX新興企業成長支援投資事業 (インド) | Rebright Partners IVファンド | 400万ドル |
| アフリカ・アジア「フィンテック金融包摂支援投資事業」 | レンダブル社。創業初期のフィンテック企業に対する支援ファンドへのJICA出資案件。女性、中小企業をふくめた金融包摂に取り組みなかったグループを支援する | 1,000万ドル |

本日の流れ

1. JICAのスタートアップ支援の意義・全体像

2. 事例

①**中小企業・SDGsビジネス支援事業**

②TSUBASA（中南米向け）

③Project NINJA（アフリカ向け）

3. 今後の方向性（案）

4. Q&A

本日の流れ

1. JICAのスタートアップ支援の意義・全体像

2. 事例

① 中小企業・SDGsビジネス支援事業

② **TSUBASA（中南米向け）**

③ Project NINJA（アフリカ向け）

3. 今後の方向性（案）

4. Q&A

本日の流れ

1. JICAのスタートアップ支援の意義・全体像

2. 事例

①中小企業・SDGsビジネス支援事業

②TSUBASA（中南米向け）

③Project NINJA（アフリカ向け）

3. 今後の方向性（案）

4. Q&A

Project NINJA (Next Innovation with Japan)



開発途上国の**スタートアップ**起業家を支援し、
イノベーションによる社会課題解決、新産業創出、日本企業連携を推進

■ 取り組み事例

アフリカ地域COVID-19対応ビジコン

- ✓ アフリカ19カ国で募集、2,713社より提案。
- ✓ 医療、物流、農業等多様な起業家が参加。
- ✓ 日本経済新聞社共催で優秀企業10社（下記）による決勝戦を実施（2021年2月26日）。ウェビナーに2000名以上が登録。



JAPAN × AFRICA

Join us on 26 Feb
Online Pitch Event
Organized by Nikkei and JICA



■ 優秀企業上位3社を決定

- ✓ 最優秀企業：

ウガンダ M-Scan社
妊産婦向けポータブル超音波装置を開発。同装置を活用した妊産婦訪問診療サービス。



■ 日本企業8社から特別賞授与

- ✓ **豊田通商株式会社**

Moja Ride社（コートジボワール）に新株予約権付転換社債の引き受けによる出資

- ✓ **楽天株式会社**

TranSoniCa社（ガーナ）にメンタリングの機会を提供

同社CEOはABEイニシアティブ卒業生
他6社より資金・メンタリング・事業連携等提供

ビジネスプランコンテスト 最優秀企業：ウガンダ M-SCAN

破壊的イノベーション

アフリカ全土、
更には先進国への適用可能性あり

Problem

高い妊産婦死亡率



Solution

ポータブルな超音波エコーで
スタッフを現場に派遣
20の診療所、700人以上の妊婦



ビジネスプランコンテスト特別賞： コートジボワール Moja Ride × 豊田通商

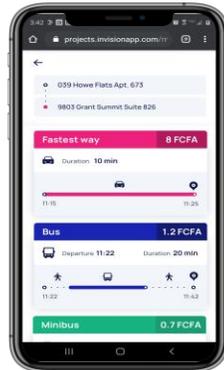
本邦企業による
ビジネスとの連携
(スケールアップへ)

社会問題： 非効率な交通体系と不透明な運賃



デジタル運賃回収プラットフォームで
安全で効率的なバス利用を実現

乗客



ドライバー



5万ドルの新株予約権付転換社債を引き受け提案



豊田通商株式会社

豊田通商を知る | 会社情報 | 事業紹介 | **プレスルーム** | 投資家情報 | サステナビリティ | 採用情報

豊田通商HOME / プレスルーム / コートジボワールでデジタル交通プラットフォームを展開するMoja Ride社へ出資～日経・JICA主催「アフリカ新興テック ピッチ決勝戦」にて特別賞～

コートジボワールでデジタル交通プラットフォームを展開するMoja Ride社へ出資～日経・JICA主催「アフリカ新興テック ピッチ決勝戦」にて特別賞～

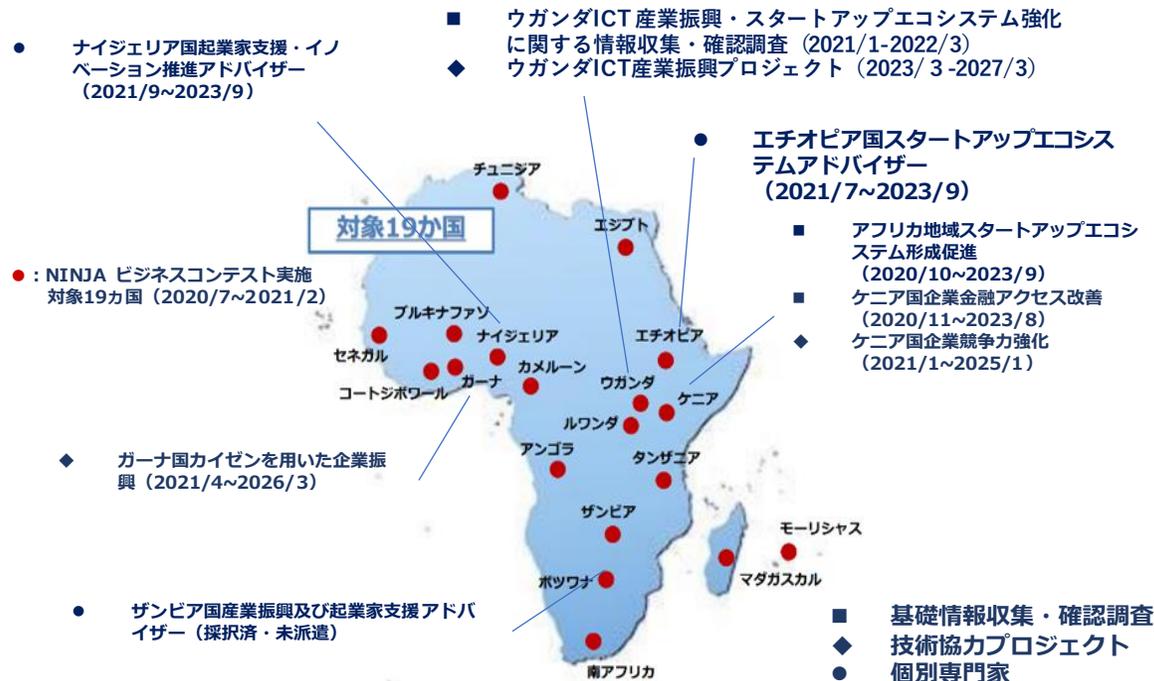
2021年03月03日

豊田通商株式会社（以下、豊田通商）とグループ会社のCFAO SAS（以下、CFAO）は、共同で設立したMobility 54 Investment SAS（以下、モビリティ54）を通じて、コートジボワールでデジタル交通プラットフォームを展開するMoja Ride SARL（以下、Moja Ride：モジャライド）に、新株予約権付転換社債※の引き受けによる出資を決定しました。

本出資は、2021年2月26日に開催された、日本経済新聞社（以下、日経）と国際協力機構（以下、JICA）共催による「アフリカ新興テック ピッチ決勝戦」（以下、本イベント）において、Moja Ride がモビリティ54特別賞を受賞したことによるものです。同社を特別賞に選定および出資した理由は、同社の公共交通機関を対象としたサービス展開を後押しすることで、西アフリカの公共交通サービスの品質向上を期待するものです。

https://www.toyota-tsusho.com/press/detail/210303_004775.html

JICAプロジェクトを通じた支援



アジアや中南米地域にも事業展開中！

日本企業との連携事例

| 日本企業 | 連携先アフリカスタートアップ | 国名 | 連携概要 |
|----------------------------------|----------------|----------|------------------------|
| Mobility54 Investment SAS (豊田通商) | Moja Ride社 | コートジボワール | 5万米ドル相当の転換社債の引き受けによる出資 |
| 楽天グループ(株) | TranSonica社 | ガーナ | 半年間のメンタリング機会提供 |
| スターリングエンジン・ジャパン(株) | And Africa社 | 南アフリカ | 極冷ロジボックス提供 |
| (株)ACCESS | And Africa社 | 南アフリカ | 事業連携を見据えたMOU締結 |
| アフリカ・キャピタル・パートナーズ合同会社 | And Africa社 | 南アフリカ | 出資を見据えたMOU締結 |

現地スタートアップへのビジネスモデル実証支援の例

| 対象国 | 支援内容 |
|----------|-------------------------------------|
| アフリカ19か国 | ビジネスプランコンテスト優秀企業 上限3万ドル/社 × 68社 |
| ウガンダ | 上限200万円 × 5社 |
| ガーナ | インキュベーション 上限50万円 × 8社 |
| ナイジェリア | インキュベーション 上限100万円 × 5社、上限200万円 × 3社 |
| エチオピア | アクセラレーション 上限約135万円 × 6社 (予定) |

※金額は実施時の為替レートによるもの

現地スタートアップへの支援プログラムの例

| 対象国 | 支援内容 |
|--------|------------------------------------|
| ウガンダ | アクセラレーション 5社 |
| ガーナ | インキュベーション 24社 |
| ナイジェリア | インキュベーション、アクセラレーション 36社 + 10社 (予定) |
| エチオピア | ピッチ等支援8社、研修30社 + アクセラレーション 6社 (予定) |
| ケニア | アクセラレーション 20社 (予定) |

※一部の参加企業は支援後に資金調達を達成 (合計5社、計136百万ドル)

ナイジェリア・不破専門家

1) 案件名称：起業家支援・イノベーション推進アドバイザー（個別専門家）

2) 派遣期間：2021/9-2023/9

→今次要望調査:後続案件2023/9~2025/09

3) 派遣先：ナイジェリア・デジタル・イノベーション局（ONDI）

4) プロジェクト目標：

ナイジェリアのスタートアップエコシステム強化における OIIE(現：ONDI)の強化

5) 成果

成果1：情報収集・ネットワーキング

成果2：社会開発課題解決に向けた実務運営能力支援

成果3：民間企業との連携



ナイジェリアの注力セクター7分野:

農業（アグリテック）、保健（ヘルステック）、金融（フィンテック）、物流、教育（エドテック）、セキュリティ、行政（ガブテック）

ナイジェリア・不破専門家（続き）

- ✓ エコシステム調査（注力分野のスタートアップの caos マップの作成）
⇒3分野作成済み、4分野作成予定
- ✓ スタートアップ支援法案・政策への関与予定
- ✓ インキュベーションプログラム(iHatch)
⇒NINJAインキュベーションプログラムを実施した後、先方独自のプログラムiHatchを年2回実施し、不破専門家は側面支援。首都含む5地域に展開中。
- ✓ アクセラレーション・プログラム
⇒「NINJA Accelerator Programme in Nigeria」として2021年・2022年に1回ずつ実施。2022年度は6社を選定し、1社辞退を除く5社にPoC支援。最終選考後のピッチを日経新聞社と共催でウェビナー配信し、1,442人が視聴。
- ✓ オープン・イノベーション
⇒現地の課題解決に資する技術を持った現地スタートアップの実証実験をJICAとONDIが支援。農家の信用力向上のため、クレジット・スコアリング技術を現地ZOWASEL社が開発予定で、農機レンタルを行う三菱商事と連携。



エチオピア・原専門家

- 1) 案件名称：スタートアップエコシステムアドバイザー（個別専門家）
- 2) 派遣期間：2021/9-2023/9
→今次要望調査:延長2023/9～2024/09
- 3) 派遣先：エチオピア革新・技術省（MinT）

4) プロジェクト目標：
エチオピアのスタートアップエコシステム強化におけるMinTの機能強化

- 5) 成果
- 成果1：社会開発課題解決に向けたスタートアップ支援
 - 成果2：スタートアップエコシステム強化政策の改善
 - 成果3：民間企業・投資家との連携促進



エチオピア・原専門家（続き）

✓ エコシステム調査

✓ ドバイのスタートアップイベント（GITEX）を契機にしたスタートアップ支援

2022年度のGITEXへMinT職員やスタートアップを招待（GITEX GLOBAL | 16-20 Oct | Enter the Next Digital Universe | Dubai）。参加するスタートアップを募集して114社の中から8社選考し研修、イベントでのピッチやVCと面会する機会等を提供。12月9日に日本の投資家等へ向けたオンラインピッチイベント開催予定。
民間企業からの特別賞を募集中。

✓ アクセラレーションプログラム

1回目の研修30社、2回目6社選定予定。
最終ピッチ2023年4-5月ごろ開催予定。

✓ 高等教育機関の支援（本邦研修等）

特異な才能を持つ子（Gifted）のための高等教育機関の運営方針やカリキュラム作成・修正等に関する本邦研修、スタッフ研修、本の寄贈等を実施予定。



Ethiopia
スタートアップ
イノベーションピッチ

オンライン
参加！

日時：2022年
12月9日(金)17:00-19:00

言語：日本語・英語
主催：独立行政法人国際協力機構(JICA),
エチオピア革新技術省(MinT)

— 登壇するスタートアップ —

Logos: JICA, MinT, and the Ethiopian Innovation Hub logo.

Images: A map of Ethiopia on a blue grid background, a woman in a plaid shirt looking at a laptop in a field, and a row of seven circular portraits of diverse young people.

ウガンダにおけるスタートアップ支援の取組

✓ Uganda Innovation Week 2022へのパートナー出展 (11月22日～24日)

- Project NINJAによりビジネスが成長したスタートアップの優良事例を発信
- スタートアップ、政府関係者、投資家などを招待しパネルディスカッションをホスト

✓ ICT産業振興・人材育成プロジェクトの実施（2023年3月開始予定）

- ウガンダは世界で最も若い国民が多い国（人口の半数が15歳以下）の一方、若者の高い失業率という背景から、国内ICT産業の振興、高度ICT人材の育成、日本含む海外企業とのマッチング等を支援
- プロジェクトの事前活動として以下2つを実施予定。

① 日本企業向けウガンダICTビジネススタディツアーの実施 (2023年1月～2月頃予定)

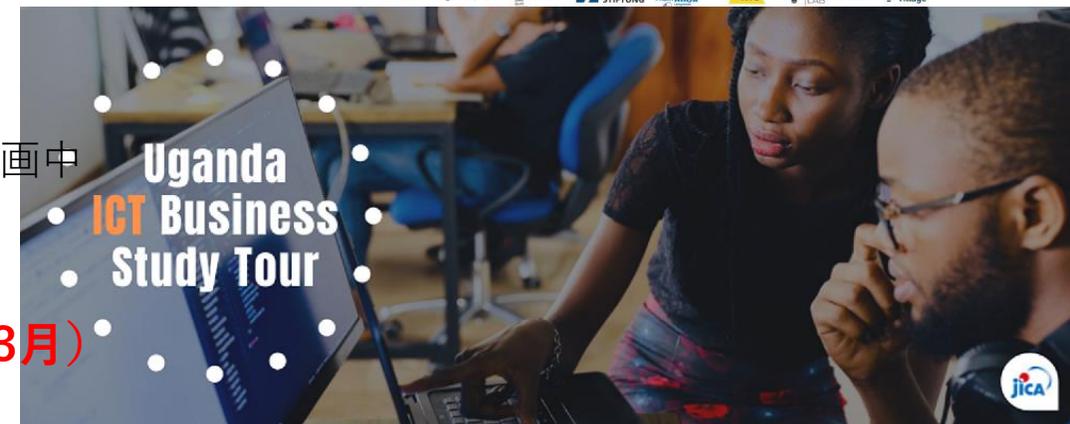
- ウガンダに進出ポテンシャルのある日本企業に対し、現地でのネットワーキングや市場開拓を支援
- NINJAで協働したインキュベーターの会場にて、ウガンダのテック系スタートアップのピッチイベント等も企画中

● 日本企業向けの説明会を12月2日に開催予定

https://www.jica.go.jp/priv_partner/information/event/2022/20221108_01.html

② ウガンダICT人材の日本招聘（仮）（2023年2・3月）

- ウガンダICT省次官や民間のICT人材を日本に招聘し、



本日の流れ

1. JICAのスタートアップ支援の意義・全体像

2. 事例

①中小企業・SDGsビジネス支援事業

②TSUBASA（中南米向け）

③Project NINJA（アフリカ向け）

3. 今後の方向性（案）

4. Q&A

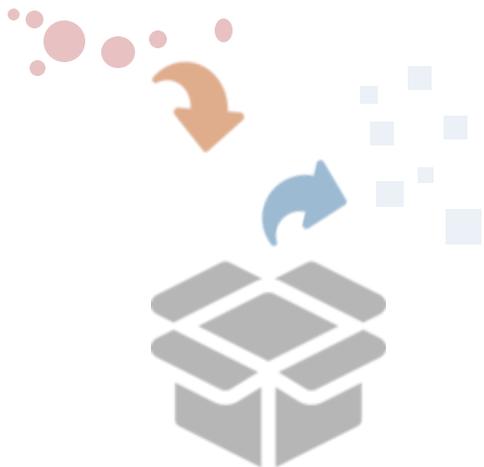
JICA DXLab 1/2



DXLabは、全世界・1,500超のODA事業を、イノベーターなデジタル技術を持つ企業等（デジタルパートナー：DP）の実証の場として開放し、開発インパクトに資するデジタル技術の活用を迅速柔軟に共創する取組みです

ODAの開放と外部共創の働きかけ

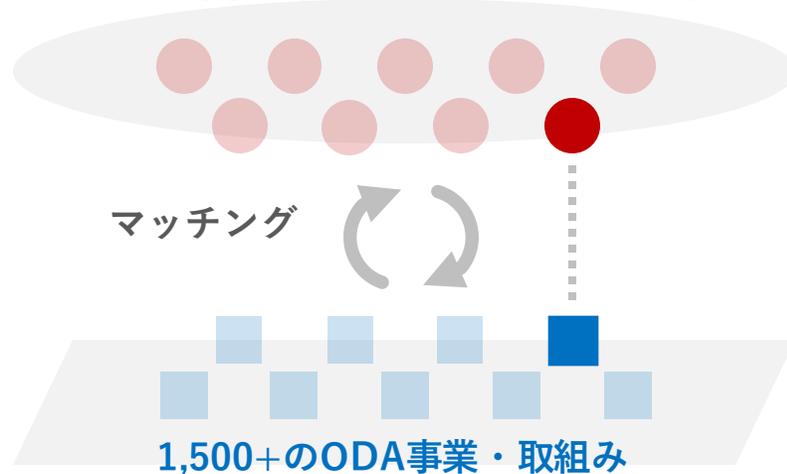
デジタル技術で開発インパクト増大を図る事業を選定し課題を外部に提示、一方でDPを呼び込み



ODA事業に乗せた課題提示型のデジタル技術ソリューション公募

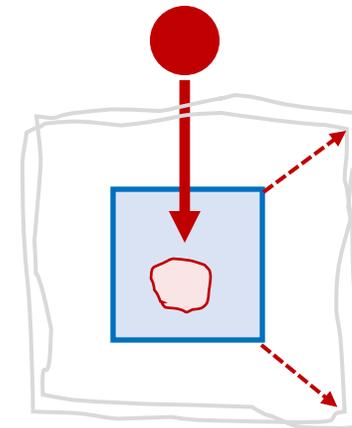
具体的なODA事業やプログラム（セクター・特定 이슈等）の課題や可能性に応える
DPを公募し、迅速柔軟に選定

数百の国内外DP（スタートアップ等）



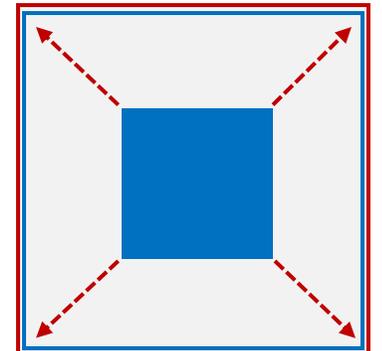
PoC設計・実証と実装検討

ODA事業でのPoCの企画・実証と本格実装の検討



ODA事業での本格実装支援

ODA事業にデジタル技術を実装することで開発インパクト増大





DXLab具体事例は以下を参照。

インド アグリテック×円借款

課題

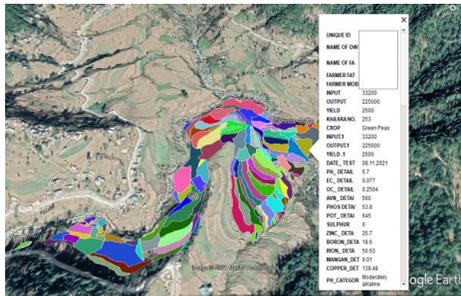
- インドの人口のうち、7割が農家
- 無計画で伝統的な農法のため生産性が低い

解決策

- **Sagri社**では、衛星データや現地です入手可能なデータを使って農地の状態を分析
- JICAを活用して農家の抱える真の課題を引き出し、政府関係者と円滑なコミュニケーションを実現

成果

- 政府の農業指導員は農家に対してより生産的な指導を行うよう助言
- 農家はデータに基づいて作物や肥料を選択するよう奨励を受ける



インドネシア 遠隔医療×技プロ

- 失明率がインド・中国に続き世界第3位
- 僻地には眼科医が存在しないか、非常に少ない場合が多い
- **MITAS Medical社**は、眼科医以外でも診察に必要なクオリティの眼画像を簡単に撮影できるモバイル機器を開発。
- JICAの情報収集・確認調査内PoCで実証。
- 1次医療施設と上位医療施設における眼科系疾患の診断能力に大きな乖離があることが判明。1次医療施設で診断能力向上が必要。技術協力で支援へ。



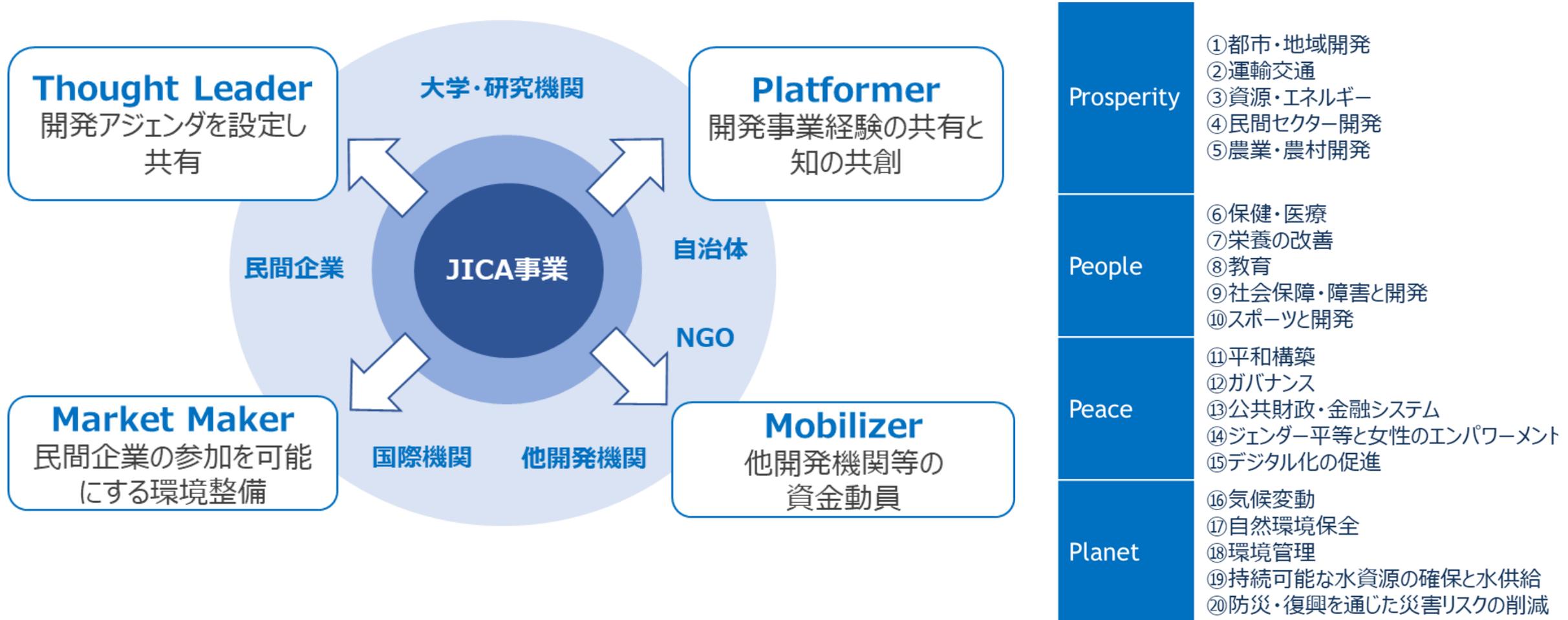
タイ AI水道管診断×技プロ

- バンコク首都圏では水道管の老朽化と漏水により、水道料金の未請求率が高い
- **Fracta社**は配管データと、配管の材質・年数、土壌、気候、マクロデータなどを組み合わせ、配管の劣化や交換が必要な箇所を予測
- JICAを活用して電力会社と提携し必要不可欠な情報・機密情報を入手
- 水道管や環境に関するデータを取り込み地図上でリスクを可視化。水道管の破損確率の把握と分析に成功



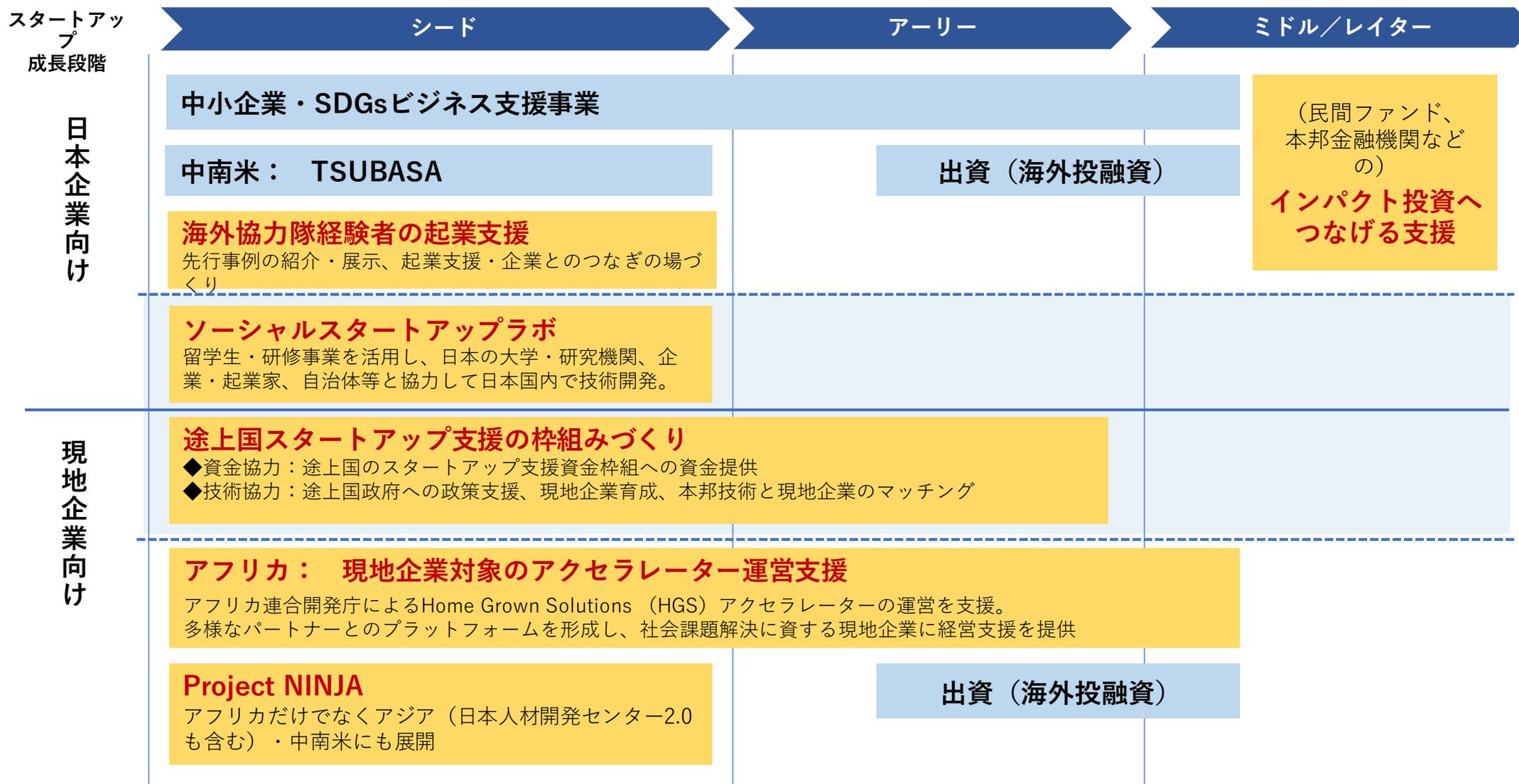
JICAグローバル・アジェンダ ~20の課題別事業戦略

途上国の社会課題解決のため、様々なアクターと協働・共創するための目標・シナリオを設けます



JICAのスタートアップ支援 今後の方向性

特にシード～アーリー期の支援枠組み作り、民間のインパクト投資の資金につなげる支援



ソーシャルスタートアップラボ

JICA留学生・研修事業を活用した日本企業の海外展開支援



【概要】

途上国の社会課題解決とSDGs等の目標達成に資する**技術活用及びノウハウ等の開発**を、JICA留学生・研修事業を活用し、**日本の大学・研究機関、企業・起業家、自治体等と協力**して日本国内で行う。開発されたアイデアは、JICA事業ツールにより、帰国した留学生・研修員をビジネスパートナーとして、途上国における**ビジネス化**を支援。

【本事業の意義】

1. 本邦大学・研究機関、日本企業の有する技術をJICA留学生・研修員と協力して、ビジネスアイデア化。日本企業や途上国起業家により事業化。
2. ソーシャル・スタートアップラボによるスタートアップに関する実践的講座による日本企業・起業家と途上国人材のマッチング。
3. 優秀な日本、途上国の若年層人材に対する新しいイノベーション市場での活躍の場の創出
4. 途上国と日本の互恵的な民間経済関係の構築
5. 本邦での就業・就学経験を有する途上国人材（外国人材、留学生）の帰国後の起業機会の創出

Project NINJAの発展：

～インドネシアにおける取組：NINJA JICAアクセラレーター プログラム～

【概要】 インドネシアのSDGs達成に貢献する可能性のあるシード期のスタートアップを選定し、アクセラレータープログラムを提供中。

応募205社からトップ**3社**が選定されており、**来年2月にジャカルタと日本で成果発表会（Demo Day）を予定。**

トップ3社に対しては、資金調達のための日系VCへの紹介だけでなく、**日本市場への販路拡大や現地日系企業との事業提携のための支援**も実施予定。

- Bell Society: 日本市場への販路拡大・提携先候補の紹介
- Carbon Ethics: カーボンオフセットコンサルテーションの日系企業向け販売
- Surplus: 現地日系小売・レストランを提携先候補として開拓

【選定された3社】



コーヒー残渣からバイオ皮革を製造（2020年起業）



マングローブ植林を通じたカーボンオフセットのコンサルテーション（2019年起業）



過剰生産された食品を安価に販売するモバイルアプリ（2019年起業）



Call for application

7 - 30 October 2022

Announcement of selected companies

4 November 2022

Demo Day in Jakarta

Early February

Assessment

31 October - 4 November 2022

Acceleration

14 November 2022 - 27 January 2023

Travel and Demo Day in Japan

Early - Mid February 2023

本日の流れ

1. JICAのスタートアップ支援の意義・全体像

2. 事例

①中小企業・SDGsビジネス支援事業

②TSUBASA（中南米向け）

③Project NINJA（アフリカ向け）

3. 今後の方向性（案）

4. Q&A